

## 基礎分野

### 【科目構成とねらい】

基礎分野は、生活者としての人間を理解するために、自己を含めた人間の理解と、その人間の生活と健康を理解する内容とした。更に、看護を学ぶ基礎として一貫性を持たせるように、【人間の理解】【人間と健康】【人間と生活】の3領域で科目を構成する。

【人間の理解】では、人間の持つ内面の理解や人間の成長・発達に学習が及ぼす影響、人間の持つ思考に焦点をあてて人間を理解する科目として「心理学」「教育学」「論理学」「哲学」を配置した。

【人間と健康】では、自身の心身の健康を見つめ、自己及び他者の健康づくりを学ぶ科目として、「心の健康」「運動と健康」を配置した。

【人間と生活】では、広く人間の生活を理解すること、生活を営む上で必要なコミュニケーション技術を学ぶ科目として「社会学」「家族論」「文化人類学」「物理学」「情報科学」「コミュニケーション論」「英会話」「パフォーマンス論」を配置した。

### 【目的】

幅広い教養を学び、感じとる力を培うとともに、生命の尊厳を基盤とした豊かな人間性の醸成を通して、生活と健康の側面から人間を深く理解し、看護を考え、構成し、表現する力を養うことで、専門職業人として成長するための基礎的能力を養う。

### 【目標】

1. 生命の尊厳や倫理を学び、看護の対象である人間を理解する。
2. 人間を生活者としてとらえ、様々な環境の中でその人らしく生きる存在として理解を深める。
3. 自己理解・他者理解を深め、コミュニケーション能力を高める。
4. 社会の動向に目を向け、国際社会、情報社会に対応できる能力を養う。
5. 専門職業人として、自立的、主体的に行動できる思考力・判断力を養う。
6. 生涯学習の必要性を理解し、自ら学び続ける力を養う。

### 【構成および計画】

#### <講義>

領域	科目	単位数	履修時期		
			1年	2年	3年
人間の理解	心理学	1	○		
	教育学	1			○
	論理学	1	○		
	哲学	1			○
人間と健康	心の健康	1	○		
	運動と健康	1			○
人間と生活	社会学	1		○	
	家族論	1	○		
	文化人類学	1			○
	物理学	1	○		

領域	科目	単位数	履修時期		
			1年	2年	3年
	情報科学	1	○		
	コミュニケーション論	1	○		
	英会話	1		○	
	パフォーマンス論	1	○		
	合計	14	8	2	4

## 授業計画

科目名	心理学	単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	1 年次
科目 目標	人間の心、行動に関する基礎的知識や人間理解の方法について学び、自己および他者の心、行動について理解する。				
回	内 容	形式		担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>	
第 1 回	心理学を学ぶ意義	講義		外部講師	
第 2 回	知覚と心理	講義		外部講師	
第 3 回	記憶と心理	講義		外部講師	
第 4 回	学習と心理	講義		外部講師	
第 5 回	認知と心理	講義		外部講師	
第 6 回	性格	講義		外部講師	
第 7 回	乳児期・幼児期の発達と心理	講義		外部講師	
第 8 回	児童期の発達の課題と心理	講義		外部講師	
第 9 回	青年期の発達の課題と心理	講義		外部講師	
第 10 回	成人期初期の発達の課題と心理	講義		外部講師	
第 11 回	老年期の発達課題と心理	講義		外部講師	
第 12 回	感情・動機・欲求と心理①	講義		外部講師	
第 13 回	感情・動機・欲求と心理②	講義		外部講師	
第 14 回	集団の心理	講義		外部講師	
第 15 回	評価				
テキスト 参考図書			評価 方法	筆記・レポート 等	
備考					

## 授業計画

科目名	教育学	単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	3 年次
科目 目標	教育が、文化・社会の動態や人間の成長発達に影響することを理解するとともに生涯学習の必要性について考える。				
回	内 容	形式		担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>	
第 1 回	教育とは 教育学を学ぶ意義	講義		外部講師	
第 2 回	文化・社会と教育①	講義		外部講師	
第 3 回	文化・社会と教育②	講義		外部講師	
第 4 回	家庭教育	講義		外部講師	
第 5 回	学校教育①	講義		外部講師	
第 6 回	学校教育②	講義		外部講師	
第 7 回	教育方法 集団教育	講義		外部講師	
第 8 回	個別教育	講義		外部講師	
第 9 回	医療と教育	講義		外部講師	
第 10 回	教育評価	講義		外部講師	
第 11 回	生涯学習	講義		外部講師	
第 12 回	アンドラゴジーとペタゴジー①	講義		外部講師	
第 13 回	アンドラゴジーとペタゴジー②	講義		外部講師	
第 14 回	教育が抱える問題	講義		外部講師	
第 15 回	評価				
テキスト 参考図書			評価 方法	筆記・レポート 等	
備考					

## 授業計画

科目名	論理学	単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	1 年次
科目 目標	論理的な考え方、表現方法の技術を学び、論理的思考力、文章表現能力を養う。				
回	内 容	形式	担当教員 <small>* 実務経験のある教員</small>		
第 1 回	論理学とは 論理学を学ぶ意義	講義	外部講師		
第 2 回	思考の根本原理	講義 演習	外部講師		
第 3 回	概念	講義 演習	外部講師		
第 4 回	命題	講義 演習	外部講師		
第 5 回	推論	講義 演習	外部講師		
第 6 回	クリティカルシンキングとは	講義	外部講師		
第 7 回	クリティカルシンキング演習①	演習	外部講師		
第 8 回	クリティカルシンキング演習②	演習	外部講師		
第 9 回	文章の読み方	講義 演習	外部講師		
第 10 回	文章の批判的な読み方	講義 演習	外部講師		
第 11 回	論理的文章の書き方	講義 演習	外部講師		
第 12 回	論理的文章を書く	講義 演習	外部講師		
第 13 回	論理的に表現する	講義 演習	外部講師		
第 14 回	ディベート	講義 演習	外部講師		
第 15 回	評価				
テキスト 参考図書		評価 方法	筆記・レポート 等		
備考					

## 授業計画

科目名	哲学	単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	3 年次
科目 目標	哲学的思考を学習し、人間の生き方、価値観生命の尊厳について理解を深める。				
回	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	哲学とは 哲学を学ぶ意義	講義	外部講師		
第 2 回	人間の存在と認識①	講義	外部講師		
第 3 回	人間の存在と認識②	講義	外部講師		
第 4 回	理性と感情①	講義	外部講師		
第 5 回	理性と感情②	講義	外部講師		
第 6 回	責任と自由①	講義	外部講師		
第 7 回	責任と自由②	講義	外部講師		
第 8 回	生と死①	講義	外部講師		
第 9 回	生と死②	講義	外部講師		
第 10 回	幸福	講義	外部講師		
第 11 回	看護と現象学	講義 演習	外部講師		
第 12 回	生きる上での諸問題 何のために生きるのか	演習	外部講師		
第 13 回	生きる上での諸問題 生命倫理	演習	外部講師		
第 14 回	生きる上での諸問題 臓器移植	演習	外部講師		
第 15 回	評価				
テキスト 参考図書		評価 方法	筆記・レポート 等		
備考					

## 授業計画

科目名	心の健康	単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	1 年次
科目 目標	心の健康について学ぶことで自己の内面の在り様を感じ、自己統制する方法を学ぶ。				
回	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	心の健康とは	講義	外部講師		
第 2 回	心理臨床	講義	外部講師		
第 3 回	メンタルヘルス	講義	外部講師		
第 4 回	心の適応と不適応	講義	外部講師		
第 5 回	医療・看護と心理① ストレスマネジメント、セルフモニタリング	講義	外部講師		
第 6 回	医療・看護と心理② バーンアウト、レジリエンス、アンガーマネジメント	講義	外部講師		
第 7 回	ワークライフバランス	講義	外部講師		
第 8 回	評価				
テキスト 参考図書		評価 方法	筆記・レポート 等		
備考					

## 授業計画

科目名	運動と健康	単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	3 年次
科目 目標	運動が健康に与える効果を学び、健康を維持増進するための方法を理解する。				
回	内 容		形式	担当教員 <small>* 実務経験のある教員</small>	
第 1 回	運動と健康を学ぶ意義 運動が健康に与える効果		講義	外部講師	
第 2 回	運動理論		講義	外部講師	
第 3 回	体力づくり① ウォーキング・ジョギング他		演習	外部講師	
第 4 回	体力づくり② ウォーキング・ジョギング他		演習	外部講師	
第 5 回	健康づくりのプレゼンテーション		講義	外部講師	
第 6 回	レクリエーションの意義と進め方①		演習	外部講師	
第 7 回	レクリエーションの意義と進め方②		演習	外部講師	
第 8 回	評価				
テキスト 参考図書			評価 方法	筆記・レポート 等	
備考					



## 授業計画

科目名	社会学	単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	2 年次
科目 目標	社会的存在としての人間を理解すると共に、多様な社会関係の中での物の見方・考え方を理解する。				
回	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	社会学とは 社会学を学ぶ意義	講義	外部講師		
第 2 回	集団及び組織 社会集団の概念、第 1 次集団、第 2 次集団	講義	外部講師		
第 3 回	家族 家族の概念、家族の変容、家族の構造と形態、家族の機能	講義	外部講師		
第 4 回	地域社会 地域の概念、コミュニティの概念、都市化・過疎化と地域社会	講義	外部講師		
第 5 回	国際社会 グローバル化と地球規模の課題	講義	外部講師		
第 6 回	生活と経済	講義	外部講師		
第 7 回	生活と労働	講義	外部講師		
第 8 回	人と社会の関係 社会的行為、社会的役割、社会的ジレンマ等	講義	外部講師		
第 9 回	社会問題とは 社会問題のとらえ方、社会病理、逸脱、 差別、貧困、失業、自殺、犯罪、非行、社会的排除、ハラスメン ト、DV児童虐待、いじめ、公害、環境破壊など	講義	外部講師		
第 10 回	多様性と社会 ジェンダー、マイノリティ、ダイバーシティ	講義	外部講師		
第 11 回	現代社会の課題を取り上げ、調査及び討議する①	演習	外部講師		
第 12 回	現代社会の課題を取り上げ、調査及び討議する②	演習	外部講師		
第 13 回	現代社会の課題を取り上げ、他者にプレゼンテーションする資料 の作成	演習	外部講師		
第 14 回	現代社会の課題の共有	演習	外部講師		
第 15 回	評価				
テキスト 参考図書		評価 方法	筆記・レポート 等		
備考					

## 授業計画

科目名	家族論	単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	1 年次
科目 目標	集団としての家族の構造と機能について理解し、現代家族の諸問題を考える。				
回	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	家族とは 家族論を学ぶ意義	講義	外部講師*		
第 2 回	家族の構造と機能 家族の歴史的変化	講義	外部講師*		
第 3 回	近代家族の形成 核家族、母の誕生、子どもの誕生	講義	外部講師*		
第 4 回	現代家族の特徴① 少子化と子育て	講義	外部講師*		
第 5 回	現代家族の特徴② 高齢化と家族	講義	外部講師*		
第 6 回	家族心理と家族関係	講義	外部講師*		
第 7 回	家族システム理論 家族発達理論	講義	外部講師*		
第 8 回	評価				
テキスト 参考図書	(家族看護学[改訂第 2 版] 南江堂)	評価 方法	筆記・レポート 等		
備考					

## 授業計画

科目名	文化人類学	単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	3 年次
科目 目標	多様な価値観・信条や文化背景から異文化を理解し、多様な人間の在り方を学ぶ				
回	内 容	形式	担当教員 <small>* 実務経験のある教員</small>		
第 1 回	文化人類学とは 文化人類学を学ぶ意義	講義	外部講師		
第 2 回	人間と文化	講義	外部講師		
第 3 回	生活と文化	講義	外部講師		
第 4 回	伝統と文化	講義	外部講師		
第 5 回	性の多様性	講義	外部講師		
第 6 回	健康・病気・医療と文化	講義	外部講師		
第 7 回	生と死の文化	講義	外部講師		
第 8 回	評価				
テキスト 参考図書		評価 方法	筆記・レポート 等		
備考					

## 授業計画

科目名	物理学	単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	1 年次
科目 目標	看護活動の基盤とするために物理学の基礎を理解する。				
回	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	物理学を学ぶ意義	講義	外部講師		
第 2 回	単位	講義 演習	外部講師		
第 3 回	トルクとてこ	講義 演習	外部講師		
第 4 回	重心と安定、不安定	講義 演習	外部講師		
第 5 回	運動の三法則と力	講義 演習	外部講師		
第 6 回	圧力	講義 演習	外部講師		
第 7 回	熱	講義 演習	外部講師		
第 8 回	評価				
テキスト 参考図書	例) 完全版 ベッドサイドを科学する 看護に生かす物理学 学 研	評価 方法	筆記・レポート 等		
備考					

## 授業計画

科目名	情報科学	単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	1 年次
科目 目標	1. 情報科学の概念と情報処理に必要なパソコンの基礎知識、活用技術を身につける。 2. 医療における情報の活用と情報倫理の必要性を理解する。				
回	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	情報教育システムの利用方法	講義 演習	外部講師		
第 2 回	インターネット、E-mail の利用方法	講義 演習	外部講師		
第 3 回	文献検索	講義 演習	外部講師		
第 4 回	情報リテラシー セキュリティと情報管理	講義 演習	外部講師		
第 5 回	Word の基本操作①	講義 演習	外部講師		
第 6 回	Word の基本操作②	講義 演習	外部講師		
第 7 回	Excel の基本操作① データ入力、計算式など	講義 演習	外部講師		
第 8 回	Excel の+基本操作② グラフの描写	講義 演習	外部講師		
第 9 回	Excel の+応用① オートフィル、絶対参照と相対参照	講義 演習	外部講師		
第 10 回	Excel の+応用② 関数の利用・関数の検索	講義 演習	外部講師		
第 11 回	Excel の+応用③ 統計処理	講義 演習	外部講師		
第 12 回	PowerPoint の+基本① スライド作成、デザイン・配色、スライドショー	講義 演習	外部講師		
第 13 回	PowerPoint の+基本② スライドの切り替え効果、図・表・グラフの挿入	講義 演習	外部講師		
第 14 回	医療・看護と情報 ICT、IOT	講義 演習	外部講師		
第 15 回	評価				
テキスト 参考図書		評価 方法	筆記・レポート 等		
備考	第 1 ～ 4 回は単位認定者も参加する				

## 授業計画

科目名	コミュニケーション論	単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	1 年次
科目 目標	人間関係の基礎としてのコミュニケーションスキルを身につける。				
回	内 容	形式	担当教員 <small>* 実務経験のある教員</small>		
第 1 回	人間関係の構築 対人コミュニケーションの特徴、 コミュニケーションの様々な形	講義	外部講師*		
第 2 回	対人交流パターンの分析 自らのコミュニケーションのあり方を見つめる	講義 演習	外部講師*		
第 3 回	人間関係とコミュニケーション	講義 演習	外部講師*		
第 4 回	受容的態度と共感	講義 演習	外部講師*		
第 5 回	アサーション アサーショントレーニング	講義 演習	外部講師*		
第 6 回	言語的コミュニケーション活用	講義 演習	外部講師*		
第 7 回	非言語的コミュニケーションの活用	講義 演習	外部講師*		
第 8 回	評価				
テキスト 参考図書		評価 方法	筆記・レポート 等		
備考					

## 授業計画

科目名	英会話	単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	2 年次
科目 目標	基礎的な英会話を学び、日常生活や看護場面で活用できる力を養う。				
回	内 容		形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>	
第 1 回	日常英会話① Ward、 dialogue、 movie、 oral		講義	外部講師	
第 2 回	日常英会話② Ward、 dialogue、 movie、 oral		講義	外部講師	
第 3 回	日常英会話③ Ward、 dialogue、 movie、 oral		講義	外部講師	
第 4 回	日常英会話④ Ward、 dialogue、 movie、 oral		講義	外部講師	
第 5 回	日常英会話⑤ Ward、 dialogue、 movie、 oral		講義	外部講師	
第 6 回	日常英会話⑥ Ward、 dialogue、 movie、 oral		講義	外部講師	
第 7 回	日常英会話⑦ Ward、 dialogue、 movie、 oral		講義	外部講師	
第 8 回	看護場面の英会話①		講義	外部講師	
第 9 回	看護場面の英会話②		講義	外部講師	
第 10 回	看護場面の英会話③		講義	外部講師	
第 11 回	看護場面の英会話④		講義	外部講師	
第 12 回	看護場面の英会話⑤		講義	外部講師	
第 13 回	看護場面の英会話⑥		講義	外部講師	
第 14 回	看護場面の英会話⑦		講義	外部講師	
第 15 回	評価				
テキスト 参考図書			評価 方法	筆記・実技等	
備考					

## 授業計画

科目名	パフォーマンス論	単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	1 年次
科目 目標	感じ取る力を養うとともに、自分の思いや考えを他者にわかりやすく表現する。				
回	内 容		形式	担当教員 <small>* 実務経験のある教員</small>	
第 1 回	マナーと接遇		講義 演習	外部講師	
第 2 回	自己開示と自己呈示 自己表現 場面に応じた行動コントロール		講義 演習	外部講師	
第 3 回	身体表現 非言語表現 自己演出 うなずき 視線 会話距離 身体姿勢と動作が相手に及ぼす影響		講義 演習	外部講師	
第 4 回	プレゼンテーション① 効果的プレゼンテーション		講義 演習	外部講師	
第 5 回	プレゼンテーション② 伝わるプレゼンテーション		講義 演習	外部講師	
第 6 回	プレゼンテーション③ プレゼンテーションの実際 (演習)		演習	外部講師	
第 7 回	プレゼンテーション④ プレゼンテーションの実際 (演習)		講義 演習	外部講師	
第 8 回	評価				
テキスト 参考図書			評価 方法	筆記・レポート 等	
備考					